

助産診断技術学Ⅳ

| | | | |
|--------------|------------------|--------|--------------------------|
| 責任者・コーディネーター | 成育看護学講座 高橋 淳美 講師 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 成育看護学講座 | | |
| 対象学年 | 4 | 区分・時間数 | 講義 19.5 時間 演習 25.5 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |
| 単 位 数 | 2 単位 | | |

・学修方針（講義概要等）

分娩期・産褥期ならびに新生児期の身体的・心理社会的特性を踏まえ、各期の経過に応じたアセスメントと助産ケアについて理解する。また各期に必要な助産ケアの基本を演習を通して習得する。具体的には、分娩経過（分娩第1期～第4期）に対応したアセスメントと助産ケア、事例や状況設定に基づく助産過程の展開、分娩期一連の分娩介助技術、出生直後の新生児のアセスメントと助産ケアおよび産褥期のアセスメントと助産ケアについて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

安全で安楽な分娩遂行に向けた助産診断と助産技術の基本を学ぶことにより、分娩開始から経過中の母児の健康状態を把握し、順調な分娩進行に向けた個別性のある助産ケアを考え、実施するための基本的技術を獲得できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 分娩開始時期の母体・胎児の健康状態についてアセスメントできる。
2. 分娩経過中の母体・胎児の健康状態についてアセスメントできる。
3. 安全で順調な分娩進行に向けた助産ケアを立案できる。
4. 安全・安楽に分娩が遂行できるような分娩介助技術が習得できる。
5. 出生直後の新生児の健康状態についてアセスメントできる。
6. 産褥期・新生児期の健康状態についてアセスメントできる。
7. 産褥期・新生児期における順調な経過をたどるための基本的な助産ケアの方法を習得できる。
8. あらゆる状況や場所において産婦のニーズ引き出し、出産体験をより良いものにするための助産ケアを習得できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室/マルチ 3-A 実習室

【講義・演習】

| 月日 (曜) 時限 | 講座(学科) 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|-------------------|--|---|
| 4/10 (月) 3限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 助産師が行う分娩期のケア (グループワーク) ・ 分娩期における助産ケアの概要について学生間のディスカッションを通じて理解することができる |
| 4/11 (火) 4限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術① (演習) 分娩室の機能と準備 ・ 分娩室内の準備について演習を通して実践することができる |
| 4/13 (木) 4限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術② (演習) 分娩野の作成 ・ 分娩介助時に使用する物品の準備について演習を通して実践することができる |
| 4/13 (木) 5限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術③ (演習) 子宮口全開大から排臨まで ・ ガウンテクニック、外陰部消毒および肛門保護について演習を通して実践することができる |
| 4/18 (火) 3限 | 成育看護学講座 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術④ (演習) 排臨から児頭娩出まで ・ 会陰保護、最小周囲径での児頭娩出、臍帯巻絡の確認について演習を通して実践することができる |
| 4/18 (火) 4限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑤ (演習) 児頭娩出から躯幹娩出まで ・ 肩甲娩出および骨盤誘導軌に沿った躯幹娩出について演習を通して実践することができる |

| | | |
|-------------------|--|---|
| 4/21 (金) 3限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑥（演習）児娩出から新生児蘇生まで ・臍帯結紮及び切断、新生児の自発呼吸確認および蘇生について、出生時の児の状況に応じたケアについて演習を通して実践することができる |
| 4/21 (金) 4限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑦（演習）胎盤娩出 ・胎盤剝離徴候、適切な方法での胎盤娩出および第1次検査、2次検査について演習を通して実践することができる |
| 4/26 (水) 1限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑧（演習）胎盤娩出から産褥パッド装着まで ・軟産道の状態の観察、子宮収縮状態の観察、出血の状態の確認、診察介助、外陰部の清拭について演習を通して実践することができる |
| 4/26 (水) 2限 | 成育看護学講座 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑨（演習）出生直後の新生児ケア ～早期母子接触まで ・アプガースコアの評価、保温、児及び胎児付属物の計測と観察、早期母子接触について演習を通して実践することができる |
| 6/7 (水) 3限 | 成育看護学講座 西里 真澄 講師 | 助産診断①（グループワーク） 時期の診断 分娩開始と入院時期の診断および助産ケア ・事例とした産婦の症状から分娩開始の有無を診断することができる ・入院の判断または自宅での経過観察を選択した場合、産婦の状態に応じた留意点や産婦への説明事項について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる |
| 6/7 (水) 4限 | 成育看護学講座 西里 真澄 講師 | 助産診断②（グループワーク） 時期の診断 入院時の助産診断・助産ケア ・入院時に想定される場面（陣痛開始の診断、破水の診断）をもとに、時期に関する診断について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる |
| 6/8 (木) 4限 | 成育看護学講座 高橋 淳美 講師 | 分娩経過に対応したアセスメントと助産ケア①（グループワーク） 分娩進行状態の診断 ・分娩3要素のアセスメントをもとに、分娩進行を促す助産ケアの実際を、学生間のディスカッションを通じて理解することができる |

| | | |
|-------------------|--|---|
| 6/8 (木) 5限 | 成育看護学講座 高橋 淳美 講師 | 分娩経過に対応したアセスメントと助産ケア②（グループワーク） 分娩進行に伴う産婦と家族のケア ・分娩進行を促すケアの前提となる観察の実際について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる |
| 6/14 (水) 2限 | 成育看護学講座 高橋 淳美 講師 | 助産診断③（グループワーク）ハイリスク要因の診断 ・産婦と胎児の健康状態を診断し、分娩進行に伴う異常を予測し、予防的なケアを考えることができる |
| 6/15 (木) 4限 | 成育看護学講座 高橋 淳美 講師 | 分娩経過に対応したアセスメントと助産ケア③（演習） 内診による観察・分娩第1期後半の助産診断・助産ケア ・分娩3要素に関する観察と分娩進行を促す助産ケアについて、演習を通して実践することができる |
| 6/15 (木) 5限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑩（演習）付随する助産技術 ・人工破膜、回旋異常時、急速遂娩時（吸引分娩、鉗子分娩）の助産ケアについて演習を通して実践することができる |
| 6/16 (金) 1限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑪（演習）準備から胎児娩出まで① ・分娩介助に向けての準備から胎児娩出までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる |
| 6/16 (金) 2限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑫（演習）準備から胎児娩出まで② ・分娩介助に向けての準備から胎児娩出までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる |
| 6/19 (月) 1限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑬（演習）胎児娩出から帰室まで① （分娩第4期のケア：1時間値まで） ・胎児娩出から帰室までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる |
| 6/19 (月) 2限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩介助技術⑭（演習）胎児娩出から帰室まで② （分娩第4期のケア：2時間値から帰室まで） ・胎児娩出から帰室までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる |

| | | |
|-------------------|--|---|
| 6/19 (月) 3限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 | 助産過程の展開①（グループワーク） ・事例に対する助産過程のうち初期診断について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる |
| 6/26 (月) 2限 | 成育看護学講座 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | さまざまな分娩体位と介助技術（演習） ・さまざまな分娩体位（側臥位分娩、四つんばい分娩、坐位分娩）と介助技術について演習を通して実践することができる |
| 6/26 (月) 3限 | 成育看護学講座 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 母乳育児推進に向けての助産ケアの実際（演習） ・進行性変化の観察および母乳育児支援方法について演習を通じて実践することができる |
| 6/26 (月) 5限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 | 助産過程の展開②（グループワーク） ・事例に対する助産過程の展開について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる |
| 7/3 (月) 1限 | 成育看護学講座 遊田 由希子 准教授 | 助産過程の展開③（グループワーク） 事例に対する助産診断・助産計画の立案 ・事例（胎児機能不全、産科危機的出血）に対する助産診断と助産計画の立案について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる |
| 7/3 (月) 2限 | 成育看護学講座 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 胎児機能不全への対応（ロールプレイ） ・立案した助産計画にもとづき、分娩期における緊急事態に対応する能力を、ロールプレイを通して強化することができる |
| 7/3 (月) 3限 | 成育看護学講座 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 産科危機的出血への対応（ロールプレイ） ・立案した助産計画にもとづき、分娩期における緊急事態に対応する能力を、ロールプレイを通して強化することができる |
| 7/5 (水) 3限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 分娩経過に対応したアセスメントと助産ケア④（ロールプレイ） ・分娩介助に向けての準備から胎児娩出までの一連の助産ケアについてアセスメントに基づいて実践することができる |
| 7/5 (水) 4限 | 成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 | 退行性変化と助産ケアの実際（演習） ・退行性変化をふまえ、退院後の生活を見据えたセルフケア能力を高める支援について演習を通して実践することができる |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-----------------------------------|-------------|------|------|
| 教 | 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第6版 | 我部山 キヨ子他 編集 | 医学書院 | 2021 |
| 教 | 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第6版 | 我部山 キヨ子他 編集 | 医学書院 | 2021 |
| 教 | 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第6版 | 石井邦子他 編集 | 医学書院 | 2021 |
| 教 | 根拠と事故防止からみた母性看護技術 第3版 | 石村由利子 編集 | 医学書院 | 2020 |

・成績評価方法

実技試験 70%、口頭試問 30%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

＜事前学修＞

- ・分娩介助技術に取り組むための必要な知識は、各授業内容/到達目標に提示されている項目について、事前に配布する分娩介助手順や WebClass にある動画の視聴、教科書等にて予習を行い演習に臨むこと。分娩介助技術に関連する必要な知識や技術（手洗い、滅菌手袋の装着・外し方、滅菌ガウンの着用、滅菌区域の作り方、一時的導尿）は、基礎看護技術のテキストや e-ナーストレーナーのビデオライブラリーで復習・確認を行い演習に臨むこと。
- ・分娩経過に対応したアセスメントや助産診断、助産過程の展開については、助産診断技術学Ⅱ、Ⅲ で学修した分娩期・産褥期・新生児期の助産診断と助産ケアについて復習してグループワークに臨むこと。
- ・各授業に対する事前学修時間は最低 60 分を要する。

＜事後学修＞

- ・講義終了後は必ず復習を行い、次回の講義に臨むこと。
- ・デブリーフィングを通して得られた学びの要点をまとめる。
- ・各授業に対する事後学修時間は最低 60 分を要する。

＜具体的内容＞

- ・分娩介助技術を含む助産ケアの実践では、毎回 30 分程度のデブリーフィングを行う。客観的なデブリーフィングを行うために、演習をデジタルビデオカメラまたは Web カメラを用いて録画し、録画したものをもとにグループごとにデブリーフィングを行うこともある。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業中やデブリーフィングにて教員から適宜コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表 2）：助産診断・技術学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|-------|-----------------------|----|----------------|
| 講義・演習 | プロジェクター (VPL-FWZ60) | 1 | 講義・演習用スライド投影 |
| 講義・演習 | モバイルスクリーン | 1 | 講義・演習用スライド投影 |
| 講義・演習 | 書画カメラ (P-100) | 1 | 講義・演習用資料投影 |
| 演習 | デジタルビデオカメラ | 1 | 演習の録画、デブリーフィング |
| 演習 | Web カメラ | 1 | 演習の録画、デブリーフィング |
| 演習 | 分娩台マミージョイ LDR | 2 | 分娩介助技術 |
| 演習 | インファントウォーマー | 1 | 分娩介助技術 |
| 演習 | 分娩監視装置 | 1 | 分娩介助技術 |
| 演習 | 胎児ドップラ エリート 200 | 2 | 分娩介助技術 |
| 演習 | デジタル血圧計 (専用スタンド付) | 1 | 分娩介助技術 |
| 演習 | スタンドライト 小型 LED 照明灯 | 1 | 分娩介助技術 |
| 演習 | 分娩介助モデルセット (分娩用外陰部Ⅱ型) | 3 | 分娩介助技術 |
| 演習 | サカモト分娩介助トレーナーDual | 1 | 分娩介助技術 |
| 演習 | チャーリー産科シミュレーショントレーナー | 1 | 分娩介助技術 |
| 演習 | 産褥子宮触診モデル | 4 | 分娩介助技術 |
| 演習 | デジタルベビースケール | 1 | 分娩介助技術 |
| 演習 | 多目的実習用新生児モデル コーケンベビー | 10 | 産褥期の助産ケア |
| 演習 | 授乳指導人形 たあくん | 2 | 産褥期の助産ケア |